

個人質問



本市議会ホームページで、過去1年間の本会議における
質疑および一般質問の映像を録画で配信しています。



公明党
やまね たかひろ
山根 堂宏



問 市長がマニフェストで示された項目で、「市役所の外部や民間の専門的な知見が特に必要とされる分野」について、民間人材の積極的登用の所見を伺う。

答 本市の抱える行財政改革や危機管理、デジタル化推進等の諸課題解決を進めるため、国の「地域活性化企業人制度」の活用、官民人事交流や任期付職員任用等、行政課題解決の効果的な選択肢を見極めて積極的に登用を進める。

問 高知市地域公共交通会議で報告された、現行の路線バスシステムを71系統から62系統への削減と全体で約10%の減便を行う方針が示された報道で、市民への事前説明や代替案を示すべきであるが、市長の市民目線での対応を伺う。

答 本市においても運転手不足に伴い、今後厳しいバス路線の再編が見込まれる現状であり、デマンド型乗合タクシーやコミュニティバスなど、様々な代替手段について交通事業者と連携を図りながら検討しつつ、市民の皆さまの不安解消と移動手段確保に努力する。



自由民主党
・中道の会
ふじかわ ゆうすけ
藤川 裕介



神谷副市長の就任

問 この2カ月半、自分自身に何が求められているとお感じになったのか、今後の意気込みも含めて神谷副市長に伺う。

答 これまでの経験を生かし、市民の皆さまに市の施策を分かりやすく伝え、より効果的なものとなるよう、皆さまの思いを反映していく。

雨の日の遊び場整備

問 多くの子育て世代の方から強い後押しをいただいている。市長公約にもある本事業の実現に向けた想いについて桑名市長に伺う。

答 庁内から提案のあった西敷地以外の候補地についても幅広く検討を行い、公約の実現に向けて取り組んでいく。

事前復興まちづくり計画

問 本市にとって非常に重要な本計画の策定をどの地区から着手していくのか防災対策部長に伺う。

答 地域特性の異なる沿岸部と内陸部から着手することとし、様々な条件を考慮し、沿岸部「三里」、内陸部「潮江」を選定した。



日本共産党
みやもと なおき
宮本 直樹



連絡船「紫雲丸遭難事故」では南海中の修学旅行生、28名の尊い命が失われた。この事故を絶対に風化させてはならない。

問 69年前の紫雲丸事故を教訓にすべき。教育長の認識は。

答 決して忘れてはならない。事故の教訓を風化させてはいけないと先輩教師から教えられた。決意を新たにしている。

学校プール改修が予算難で困難に。着衣水泳授業は命を守る授業。なくなっても良い授業か？

問 プール改修予算を財務部に強く要求を。教育長の対応は。

答 改修費用と外部プール利用を比較し外部利用が安価な場合、外部利用を当該校と検討する。

高知ユナイテッドは悲願の「J3昇格」へと頑張っている。ホームゲーム観客動員支援等が必要。

問 J3昇格に向け、地元の大声援が必要。昇格基準をクリアするための市の対応はどうか。

答 高知市公式LINEによる情報配信や「あかるいまち」で入場券の抽選プレゼントを実施する。



市民クラブ
ばん 武澄
たけずみ



安すぎるバス運転手賃金

問 運転手不足が顕在化した。基本給21万円では県外に転出してしまふ。窮状への危機感が伝わってこない。

答 とさでん交通の賃金の低さは認識している。県平均に引き上げるには2億7000万円必要だが、一人でも多くの運転手を確保する取り組みを検討したい。

春野漁港になぜ20億円

問 漁港の利用状況は。

答 3経営体15人が漁業に従事している。9年前、約6600万円あった水揚げは、昨年は約1360万円と大きく減少している。

問 そこに20億円の堤防費とは。

答 機能強化しなかった場合、漁港機能が失われ、漁業活動の大きな支障となる。

中心市街地の買い物難民

問 どんな対策を取ってきたのか。

答 中心部で複数の量販店が閉鎖となつているが、市独自に特に施策は取っていない。市民の生活維持が困難な状態ではない。



自由民主党
中道
よしなが てつや
吉永 哲也



カスタマーハラスメント対策

官民を問わず大きな社会問題となつているカスタマーハラスメント対策を個人判断に委ねるものではなく、市としての強い決意を示すべきである。

問 本市における対策について。

答 不当要求行為対応マニュアルを改正し、職員研修を実施するとともに、カスタマーハラスメントを受けた職員のケアにしっかりと取り組むなど、組織として職員を守る取り組みを進めていく。

市長公約スクラップとチェンジ

財政構造の根本的刷新を目的に、財政問題懇話会が有識者8名の構成で開催された。

問 この会の今後の方向性は。

答 委員の皆様には歳入確保や歳出削減などゼロベースで議論をいただき、職員には取組へのアイデアを募集し、来年度予算に反映。

問 市民の方は市長に対し変化、チェンジを望んでいるのでは。

答 変えるべきものはしっかりと変えていくという強い決意を持つて、これからの市政運営に取り組んでいく。



自由民主党
中道の会
たかはし ひろただ
高橋 裕忠



危機管理体制について

問 本市の市長、副市長二人体制が整ったが3人が同時に不在となることはないのか。総務部長に聞く。

答 市長と両副市長のスケジューリングにつきましては、危機管理の観点から3人全員が高知市外に出て不在となることがないように調整しており、用務が重なる場合には部局長の代理出席や日程変更といった対応を取るようにしています。

津波火災について

問 燃焼している漂流物への船の上からの放水消火活動について効果と課題を消防局長に聞く。

答 南海トラフ地震発生時には東日本大震災を上回る津波火災の被害が危惧されています。1月の高知市総合防災訓練で救助用ボートによる船上放水を実施しました。燃焼物に直接放水できること、水圧で漂流物や漂流油を避難ビル等に漂着させないようする効果が見込める一方、専用機材の操作方法や操船技術等の課題も残されていることから研究していきます。



公明党
たかぎ たえ
高木 妙



大型小売店舗進出による地域の安全対策について出店を拒むものではない立場で、店舗が立地される周辺地域の生活環境の保持のために定められた法の趣旨に鑑み対応について

問 北入口を設けることによる周辺地域の影響について高知市の考えを聞く。

答 大型店舗北側市道に出入口を設けることについて、法的に規制をすることはできないが、道路管理者としても通学路の安全確保や渋滞対策について、地域の皆さまが懸念されている内容については店舗側に要望した上で十分協議していく必要があると考えている。そのため、高知県から求められている「大規模小売店舗立地法」に基づく意見照会に対して北側出入口からの出入りをさせないことも含め、通勤・通学時間帯等への配慮や西進をさせない方法等について道路管理者である本市と協議するとともに、地域の皆さまのご意見を十分聴取するように店舗側へ求めていくこととしている。



日本共産党
おかだ 岡田はるか



とさでん交通の課題を共有し、地域公共交通の確保・維持へ

問 新たなバス廃止路線の提案について事前説明がなかったことをどう受け止めているか。

答 事前周知を求めてきたが実施に至らず残念。利用者や地域に寄り添った丁寧な対応を求め、連携を図っていく。

問 「路線の減便廃止は避けられない」という差し迫った課題への対応策は。

答 バス路線維持のための運転手確保策や利用促進策の検討、デマンド型乗合タクシーやコミュニティバスなどの代替交通についても並行して検討してきた。事業者とも一緒に具体的な取り組みについて協議を進めていく。

子どもの権利を第一に、離婚後共同親権の対応を

問 就学援助制度など、父母の所得の合算により必要とする人が支援から外れることがあるか。

答 離婚し住居が別となった者は審査対象から外れ合算されない。施行後も審査方法は変わらない。



市民クラブ
おかざき くにこ 邦子



問 特定利用空港・港湾、自治法改正について市長に問う。

答 自衛隊や海上保安庁が平時から円滑に利用できるようインフラ管理者（県知事）との間で合意されたもので指定そのもので軍事利用が進むものではないと聞いている。自治法改正は国の指示を特例としており地方分権を揺るがす事にはならないのではと考える。

問 三障害のうち身体・知的障害者の方には、「医療費助成制度」があるが、精神障害者の方に今だにないのは不平等ではないか。

答 必要性は十分認識しているが、市単独の実施は厳しく高知県とも連携し対応を共に考えていく。

問 4月に施行された「共同親権」について、子どもの権利の視点から認識を問う。

答 子どもの最善の権利が担保されるよう注視していく。

問 高知市における女性管理職登用の目標値と今後の取り組みを聞く。

答 いずれも国の目標値を超えており、今後も積極的に取り組む。



自由民主党
・中道の会
うえだ あやこ 上田亜矢子



指定袋でゴミを減らそう

問 環境意識の高まる今、高知市もゴミ袋を指定化する時期にきているのではないか。将来への投資と考え、市民の皆さまに助けていただく必要がある。ゴミ処理施設の建て替えの基金もなく、菖蒲谷のプラスチック処理施設も老朽化し、新たに建設するには数億円かかる。近隣の自治体では既に有料化を実施しており、他地域からのゴミの持ち込みもある。県内では高知市だけが指定化されていない。ゴミの減量が期待できる指定袋を導入してはどうか。市長の意見を聞く。

答 平成22年3月議会で提出した「ごみ有料化等条例」議案は否決された。その理由は、①将来の人口減少によるごみ排出量の減少、②他市と比べ安価な処理が実現されている中で新たな負担、③市民の合意形成と「高知方式」への影響が挙げられる。市民の意見も考慮しつつ、有料化の議論は慎重に行う必要があると考える。



日本共産党
きこ 迫 哲郎



国の情報システム統合後、経費3割削減を目指す方針は、国の責任によって実現を

問 本市の新システム移行後の運営経費削減の見込みは。

答 経費の見積りはまだだが、試算できている中核市11市のうち10市では大幅に増加する見込みだ。

問 神谷副市長、今後の対応は。

答 国は、自治体の財政に影響を及ぼさないよう配慮することが必要。私も、地方の実情を伝える。朝倉中プール、修繕せず外部プール利用へ。教育の格差なくすため、予算を確保できないか

問 朝倉中のプール改修費の市負担額は。また、1年間の額は。

答 事業費1億5035万円のうち、実質負担は9893万円。1年間では422万円。外部プール利用が年312万円安価となる。鏡川漁協の公平な運営を求めた報道記事に係る裁判について

問 全面敗訴となった鏡川漁協は、公金支出の相手として妥当か。

答 問題はない。必要であれば、指導機関である県と情報共有する。



日本共産党
はまぐち かずこ
浜口佳寿子



急がれる仮設住宅等の用地確保

問 南海トラフ地震で想定される応急仮設住宅（仮設）、災害公営住宅（災害公営）それぞれの用地確保の状況について伺う。

答 L1で仮設8562戸、災害公営3250戸、L2で仮設36387戸、災害公営13750戸の必要想定戸数に対し、仮設は約3400戸分、災害公営は東石立町市住旧住棟の土地1カ所のみ。マイナ保険証無くても受診できる

問 12月2日の従来の保険証廃止に対する市民の不安払拭を。

答 12月2日の保険証廃止後も保険診療は受けられ、資格情報変更等の場合「資格確認書」を交付、受診できる旨をホームページやかかるいまちに掲載して周知する。

問 保護者の就労実態の把握、支援員の処遇改善を行い、第3土曜日のみ開設中の放課後児童クラブの土曜日開設拡充の検討を

答 開設拡充のニーズの認識は、就学前児童の保護者2千人が対象の令和5年度の調査では約43%が希望し、市民ニーズは高い。



市民クラブ
おかざき ゆたか
岡崎 豊



人口減少対策について

問 人口減少が社会に及ぼす影響について、市長に伺う。

答 地域経済全体の衰退をもたらしかねない脅威と考えており、本年5月に全庁が参加するプロジェクトチームを立ち上げた。新たな取組の検討を進め、あらゆる施策を展開し若年人口の増加を図ると、市長は意欲的な答弁をした。

指定管理者制度について

問 本市との間で修繕計画は共有しておらず、修繕の予測が困難な状況。修繕計画の共有化を問う。

答 修繕計画を共有することで、事業収支等を想定できる。個別施設保全計画等を指定管理者と共有していくと、総務部長は答弁した。

デジタルリスクについて

問 教育的効果を高めるために必要なデジタルリスク対応を問う。

答 デジタルリスクを防ぎ児童生徒を守るだけでなくトラブルからも学び、課題解決していく態度こそが大切。より良い方法を学べるよう、教育委員会として取り組んでいると、教育長は答弁した。



自由民主党
・中道の会
はまぐち たくや
浜口 卓也



情報セキュリティ対策について

問 本市の情報セキュリティ対策は、完全に安全な暗号によるものであるべきと考えるが、見解を聞く。

答 今後、量子コンピューターの開発により、情報を解読される危険性が指摘されている。完全暗号を採用することは有効であるが、国の動向を注視していきたい。

地球温暖化対策への取り組みについて

問 本市の資源である森林を生かして、温室効果ガス吸収量の増大を目指すべきではないか。

答 林業適地以外の区域でも温室効果ガス吸収量の増加や、広葉樹が混在する多様で健全な森林への誘導のため県と協力し研究する。

卸売市場について

問 本市の卸売市場の取扱高の減少などを受け、今後の活性化策について問う。

答 既存の仲卸業者に対する2店舗目以降の追加貸し出しの検討、関連店舗については出店に対する支援策や規制緩和を検討していく。

人事議案

6月定例会最終日の7月1日に、市長から監査委員の選任議案、人権擁護委員推薦についての諮問議案が提出され、それぞれ同意または異議なき旨答申しました。

監査委員

長尾 和明 浜口佳寿子

細川 哲也

人権擁護委員

稲垣 健吾 岡林 俊司

楠本美津子

◆ 休憩室 ◆

遠方の親友と久しぶりに飲んだ。小さな字が見えなくなってきたねとか、あのときこうだったよねとか、昔話もして。幸せを祈りあって別れた帰り道。ふと、あと何回会えるのかなと考えてしまった。あの頃はお互いのことをなんでも知っていたのに、今は誰と暮らしているのかさえ知らない。大切に会いたい人が近くにいないということは、とても贅沢で幸せなことだ。（議会広報広聴委員 上田亜矢子）